

平成30年度 東京都立大島海洋国際高等学校 学校経営計画

東京都立大島海洋国際高等学校長 山寺 佳幸

1 目指す学校

<p>《校訓》 誠実 Faithfulness 礼節 Courtesy 協力 Cooperation</p> <p>《教育目標》</p> <p>「海を通して世界を知る」をテーマに体験を重視した海洋教育・国際教育を先導する高校を目指す。国際社会の課題や環太平洋地域の海、船、水産を素材とした課題を発見・探求する高い志をもつスペシャリストを育成する。また、国際社会に通用する優れたコミュニケーション能力、良識、学力をもつ社会に貢献できる国際感覚豊かな逞しい人間を育成する。</p>
<p>《重点育成項目》</p> <p>(1) 進路希望をより高いレベルで実現する学力を育成する。</p> <p>(2) 日本文化を学ぶとともに、留学生や国外からの訪問者の受入れと交流活動により異文化理解力を育成する。</p> <p>(3) 学校行事、寄宿舎生活、航海実習、部活動を通じて豊かな心と逞しい体を育む。</p> <p>(4) 帰属意識を深めながら仲間と共により良く生きる生徒を育成する。</p>

2 中期的目標と方策

	中期的目標	目標達成の方策
(1) 学校経営	<p>平成 29 年度東京都立大島海洋国際高等学校在り方検討委員会の報告書に基づき、平成 32 年度入学生からの具体的な教育課程編成作業をする。</p> <p>学校の特色を出せるよう短・中長期的な展望に立ち、組織的・効果的・計画的な学校経営を行う。</p>	<p>①【学科改編に向けた教育課程編成】</p> <p>平成 34 年度の次期学習指導要領実施も見据え、本校の平成 32 年度入学生以降の学科改編実施に向けた、教育課程の具体的な編成作業を開始する。在り方検討委員会報告書の「今後、実現に向けて取り組むべき事項」について総合的に検討する。教育課程委員会を定期開催し今年度は、教育課程の大きな枠組の完成を目指し取り組む</p> <p>②生徒の安全と安心を最優先とした学校経営を行う</p> <p>③ワーク・ライフバランス改善のため、組織的に業務にあたり、業務の整理・効率化を図る</p> <p>④企画調整会議を中心に組織的な学校経営を進める</p> <p>⑤学校の課題を踏まえ、経営企画室・各分掌により具体的な方針と目標を定め、組織的な校務運営を行う</p> <p>⑥中長期的展望に立って事業を見直し、特色ある教育活動を実践する教育施設・設備（実習船・寄宿舎等）の予算編成を行う。また、実習船の安全運航システムを確立する</p>
(2) 学習指導・進路指	<p>学力スタンダードに合わせた指導、改善を図り学力向上を推進する。言語活動の機会を設けた指導の工夫をする。</p> <p>生徒一人一人の進路意識を高めるとともに、四年制大学、公務</p>	<p>(1)【学力スタンダードの実施】</p> <p>①生徒の「学習サイクル」の実施 授業→予習・復習（宅習・家庭学習）→確認テスト→フォローアップ</p> <p>②生徒の「学び方」指導サイクル 学力診断→個別学習ガイダンス・進路ガイダンス・学習自己目標→学習自己評価</p> <p>③教師の「授業改善サイクル」 生徒の授業評価→授業改善（学力スタンダード研究）</p>

導	員など、より高いレベルの目標を実現する意欲と学力を育成する。 また、AO・推薦入試に対応する。	→生徒還元→改善策実践(言語活動の工夫)・再評価 (2)【組織的・計画的な進路指導】 ①全体計画に基づくキャリア教育の推進 ②1年次から組織的かつ意図的・計画的に進路指導を実施 ③2年次でのインターンシップ・オープンキャンパスの参加 ④進路情報の的確な収集と提供
(3) 国際教育・地域教育	国際社会を念頭に思考する豊かな発想と、現代社会の課題に取り組もうとする志を育成 地域や国の文化・歴史・伝統を深く理解した上で、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に日本文化を発信できる国際人としての基礎育成	①航海実習に合わせた英会話能力の向上 ②希望する生徒の海外留学・海外体験学習の推進 ③姉妹校 Southern High School との交流 ④TOEIC BRIDGE テストに向けた指導の実施 ⑤ネイティブ教員を活用した英語力の向上 ⑥国際理解科目「日本文化」「比較文化」「海洋政策」の実施 ⑦総合的な学習の時間に国際社会の課題探求を実施する。 ⑧地域に根差し、貢献する教育活動の推進 ⑨「世界友だちプロジェクト」を活用した教育機会を設定する。
(4) 健全育成	社会の一員としての規範意識(アクティブコンプライアンス)と社会へ貢献する心を育成する。	①航海実習における国際マナーの育成 ②ドミトリ(寄宿舎)における自律指導 ③災害復興等の奉仕体験活動をはじめ、様々な社会貢献活動を関係諸機関と連携して実施 ④宿泊防災訓練の実施、安全・防災意識の醸成
(5) 英語力育成	国際コミュニケーションツールとして、総合的な英語力を育成する。	[専門教科の設置等による総合的な英語力の育成] ①航海実習に合わせた英会話能力の向上 ②TOEIC BRIDGE テストに向けた指導の実施 ③海外からの留学生・訪問者受入及び交流活動の実施。 ④2年国際系全員対象のBH(※1)における語学研修」及び「1年生全員対象 TGG(※2)における語学体験学習」の企画・実施(※1)BritishHills(福島県)(※2)TokyoGlobalGateway(東京都) ⑤ネイティブ教員を活用した英語講座の開催

3 平成30年度 of 取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

	今年度の目標	目標達成の方策
(1) 学校経営・予算編成	短・中長期的な展望に立ち、組織的・効果的な学校経営を行う。	①特色ある教育活動に向けて、企画調整会議を中心として、組織的な学校経営を実施する。 ②学校の課題を踏まえ、経営企画室・各分掌により具体的な方針と目標を定め、組織的な校務運営を行う。 ③個人情報安全管理基準に基づき、個人情報の管理の徹底を組織的に行う。 ④事業ごとに「費用対効果」を念頭に事業見直しを含めた自律経営推進予算編成を行い、効果的な予算執行を行う。そのためにPDCAサイクルを活用する。特に、経営企画室は実習船大島丸及び寄宿舎に係る諸経費の計画的な予算編成と適切な予算執行をする。 ⑤特色ある教育活動を行う教育施設・設備(実習船・寄宿舎等)の中長期的展望に立った予算編成
(2)	学力スタンダードの活	①教科毎に学力スタンダードを作成し、学力を高める指導と言語活動の場を工夫した授業の実践により、思考

<p>学習指導</p>	<p>用により四年制大学進学等に対応できる学力を育成する。 言語活動を取り入れた授業(思考力・判断力・表現力)の工夫によりコミュニケーション力を高める。</p>	<p>力、判断力、表現力を伸ばす授業を実施 ② 宅習・家庭学習の効果的な学習体制の構築 ③ 「学習サイクル」、「学び方」指導サイクル、「授業改善サイクル」の確実な実施 ④ 教科における基礎学力の指導内容の確認と習熟度別授業、少人数編成授業の活用 ⑤ 四年制大学進学に対応できる「年間授業計画」の作成 ⑥ 「週ごとの指導計画」作成および授業時数の確保 ⑦ 図書館を活用した言語教育活動の推進 ⑧ ICTネットワーク・機器を有効に活用した指導 ⑨ 学力向上研究校(都立学校寺子屋事業)の効果的な活用</p>
<p>(3) 進路指導</p>	<p>生徒一人一人の能力向上を図り、進路実現と進路希望をより高いレベルで実現し、中核的専門人材の育成を目指す。</p>	<p>① 進路指導キャリア教育部、各学年と各教科の連携と3年間を見通した系統的、組織的進路指導の実施 ② 学習ガイダンス週間(4, 5~6, 10, 1月)の中で個別の進路ガイダンスを行い定期的進路意識調査の実施ときめ細やかな進路指導を実施する ③ 進路指導強化月間・進路講演会・模擬試験・資格取得試験等を活用した計画的な進学指導の実施 ④ 放課後や宅習時間を活用した講習・補講の実施 ⑤ AO入試、推薦入試、面接、小論文等における専門分野に対する組織的指導の実施 ⑥ 東京海洋大、首都大学東京、東海大及び東京大学海洋アライアンス等の海洋系大学との連携事業の推進</p>
<p>(4) 課題探求</p>	<p>国際社会と地域の課題探求とこれに挑戦する志を育成する。</p>	<p>① キャリア教育の実施 「働く意味、働くことを通した社会や人々への貢献」 ② 総合的な学習の時間の実施:「国際社会の課題探求」 1年次のメインテーマ 「自己理解」「地域理解」「進路研究」 2年次のメインテーマ 「地域理解」「職業・大学研究」「国際理解(環太平洋地域諸国)の研究」 3年次のメインテーマ 「地域理解」「自己理解・将来設計」「国際社会の課題探求」 ③ 地域貢献を目指す教育活動の推進</p>
<p>(5) 健全育成</p>	<p>規範意識、社会性、安全安心を基盤とした人権意識を持つ自律的な生徒を育成する。</p>	<p>① 挨拶、遅刻、服装、頭髪、装飾品、清掃等について組織的指導の実施 ② 全教職員の授業規律の徹底 ③ 生徒の「参加と責任」による生徒会活動及び部活動の活性化と帰属意識の継承。 ④ いじめ防止対策委員会の確実な実施 ⑤ 学校保健計画に基づく学校保健活動の実施 ⑥ 「安全教育プログラム」や「東京防災」に基づく危機管理体制の確立と日常の危険予知能力の育成。また、命の大切さを指導するため「安全指導の日(5月13日)」「海の安全祈念日(2月10日)」「東京都平和の日(3月10日)」を軸とした意識付けの実施 ⑦ 体罰のない高い人権意識をもった指導の実施</p>
<p>(6) 寄宿舎指導</p>	<p>ドミトリ(寄宿舎)における基本的生活習慣を整える。仲間との協調性と自律性を育成し共に居心地がよくなる笑顔あふれる寄宿舎とする。</p>	<p>① 「挨拶・時間厳守・清掃・整頓・学習」の指導を通して基本的生活習慣を整える ② プリーフェクト(生徒の代表)を中心とする自律的生活習慣確立の指導 ③ 生徒自ら運営する委員会活動の指導を通して協調性と自律性の育成 ④ ハウスマスター(寄宿舎舎監)による定期的な個別面接と日常の生活指導によるきめ細かな指導の実施 ⑤ 奉仕活動の実施と地域活動参加による地域貢献。 ⑥ 栄養士による食育やハウスマスターによる感染症予</p>

		防により健康に関する意識を高め、安全で安心な生活ができる環境づくり
(7) 海洋 国際 教育	体験的国際教育による国際社会の課題意識の育成。 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、日本文化の発信力を育成する。	①航海実習において海の資源や生物・船に関する学習とシーマンシップを育成する。 (1年次基礎航海実習、2年次航海実習・3年次観測航海実習「地球的課題解決」) ②専門教科「国際」(日本文化)の全員履修を行う。東京都独自英語教材「Welcome to Tokyo」を活用して日本文化の発信力を高め「日本人としてのアイデンティティ」の確立に資する。 ③専門教科「英語」での想像力育成やTOEIC BRIDGEテストの指導を推進 ④国際教育の一環として留学生や海外からの訪問者の受入れと交流活動を行う。「次世代リーダー育成道場」を活用し海外留学を推進する。
(8) 広報 活動	開かれた学校づくりによる広報活動の充実。地域・学校外の教育力と連携した活動の推進	①HPによるリアルタイムな情報発信と学校広報誌による保護者、地域、中学生への教育活動の情報発信 ②中学校、学習塾訪問など、あらゆる機会に海洋国際科の教育内容とドミトリの集団生活を周知する。 ③図書館等の地域開放の推進と学校開放事業の充実。地域と連携した「日本文化」「奉仕」学習の推進 ④地域の人材を活用した教育活動の推進 ⑤地域貢献活動を通じて本校の校風を地域に発信する。

(2)重点目標と方策

	重点目標	目標達成の方策と数値目標
(1) 学習 指導 ・ 進路 指導	進路指導の充実(進路実現) 言語活動の充実	○進路指導・キャリア教育部と学年・教科が連携し、言語活動の充実及び学力向上を推進し、多様な進路の実現を図る。 ①現役の進路決定率(100)% ②年間講習時間(放課後・ドミトリ)(300)時間以上 ③生徒の学習満足度(基礎基本がわかる)(80)%以上 ○各種検定・資格取得に参加し、学習意欲を高め、励みと目標にする。 ①TOEIC BRIDGEテスト110点以上(50)名 ②1級小型船舶操縦士資格合格率(90)%以上
(2) 生活 指導	寄宿舎の生活指導の充実 活力ある部活動の推進	○生活指導部と寄宿舎部が連携し、全体指導と個別指導を通して自律的生活を促す。 ①延べ遅刻回数(120)回以下 ②保護者の学校満足度(80)%以上 ○部活動入部特別期間等を設定し、加入率向上とさらなる活性化を図る。 ①5月1日における部活動加入率(90)%以上
(3) 募集 ・ 広報 活動	広報活動の推進と募集対策の充実	○学校説明会の回数・内容を厳選し本校の特色化のPR充実を図る。 ①中学生の学校説明会・寄宿舎説明会参加者(300)人以上 ②職員の中学校訪問、在校生の母校訪問、学習塾対象の学校説明会を実施する。 ③ホームページ更新回数(300)回以上 ④広報活動を通して、より多くの中学生に「本校の求める生徒の姿」と本校の教育活動に共感してもらい、目的意識を醸成する。

